

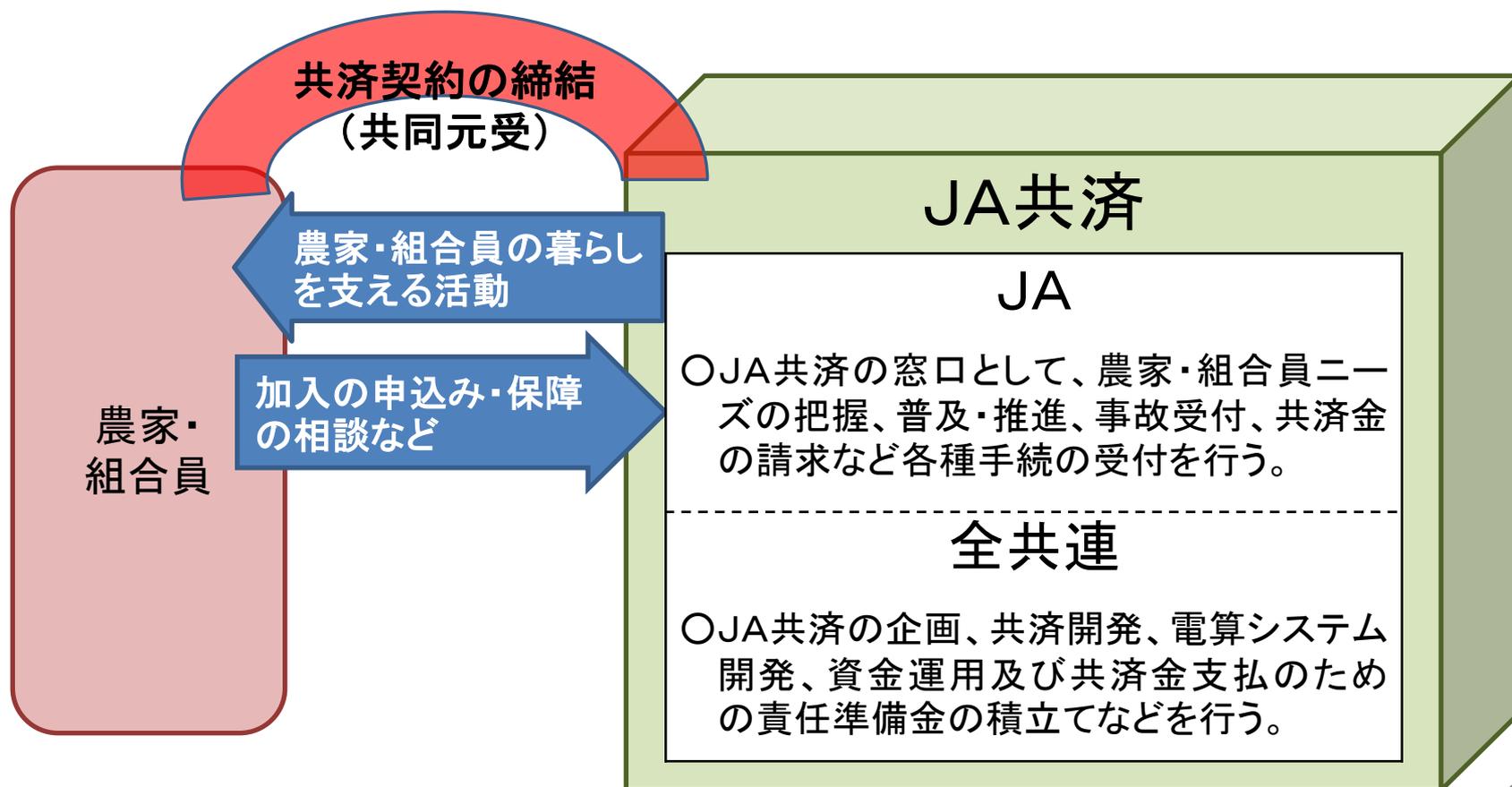
# JA共済事業の概要について

平成26年4月2日

全国共済農業協同組合連合会

# JA共済の事業方式

JA共済事業は、相互扶助の精神を基盤として、農家・組合員の事業・生活に生じた事故による損失を救済するものです。



# JA共済の事業概況 1

## 農家・組合員の個人向けの共済



**人に関する保障: 加入件数 約2,010万件、保障共済金額 約152兆円**

⇒農村部の高齢化を踏まえ、高齢者向けの保障を提供

- ・医療共済(約262万件)、年金共済(約324万件)、介護共済(平成25年度から実施)
- ・81～99歳の高齢者を対象とする傷害共済(約17万件)



**建物に関する保障: 加入件数 約1,069万件、保障共済金額 約145兆円**

⇒農家・組合員の生活実態にあった住宅・建物向けの保障を提供

- ・農家住宅や納屋、物置、土蔵、厩畜舎、農作業場などを保障。



**自動車に関する保障: 自動車共済844万件、自賠償共済703万台**

⇒農家・組合員の生活実態にあった自動車向けの保障を提供

- ・農業用として使用する貨物自動車(軽トラックなど)に割引を適用。

(約162万件)

(平成24年度実績)

# JA共済の事業概況 2

## 担い手・農業経営体向けの共済

○組織化・法人化した集落営農向け



集落営農・農業法人のオペレーター従事者などの農作業中のケガを保障する傷害共済の提供

経営者の万一保障と退職金造成を兼ねた長期間の定期生命共済の提供

○残留農薬が検出された農作物の回収費用

○出荷者(農家組合員)の損害賠償責任

○JA直営の直売所の店舗休業損害



JA共済連グループの一員である共栄火災海上保険株式会社からリスク保障を提供

# JA共済の事業概況 3

**共済金支払額** (平成24年度実績)

**3兆4,066億円**

共済金の種類	支払額
満期共済金	2兆3,870億円
事故共済金	1兆 196億円

**東日本大震災に関する共済金の支払状況** (平成25年3月末現在)

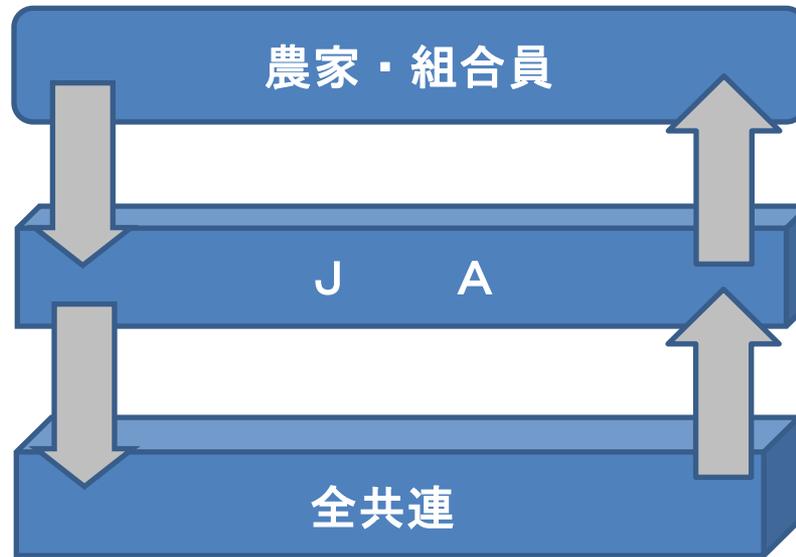
共済種類	支払件数・支払共済金
建物更生共済	661,014件 9,037億円

※ 地震保険支払額(損害保険会社計)・・・約1兆2,400億円(平成25年3月末)

# JA共済の事業概況 4

## 共済掛金の流れ

共済掛金の支払い  
: 約7兆600億円



共済金・割戻金などの受取り  
: 約4兆7,600億円

資産	負債
約50兆6,900億円	共済契約準備金 約46兆6,200億円

(平成24年度実績)

# JA共済事業の概況 5

～地域貢献・社会貢献活動～

## 災害救援・復興支援

- 自然災害や火災で住宅に住めなくなった契約者に、応急用の「仮設住宅」や「災害シート」を無償で貸与。

## 交通事故対策活動

- アンパンマンミュージカル・スタントマンによる事故現場の実演・高齢者向けの落語など、各年代に応じた、交通安全を呼びかける啓発活動の実施。カーブミラーなどの地域への提供。
- 交通事故被害者の社会復帰を支援するためリハビリテーションセンターを開設。

## 健康増進・在宅介護支援活動、文化支援活動など

- JA共済が独自に開発した健康体操をご紹介するなどして、病気の予防・健康づくりを支援。
- 小中学生を対象に「交通安全ポスター」「書道」コンクールを開催。

# これから充実させる取組み

## 農業リスク分野への保障提供の拡大

農業経営の大規模化・法人化、6次産業化、農山漁村における再生可能エネルギー事業の進展、農産物の輸出増を見据え、より一層リスク保障の提供を行う。

## JA指導・サポート機能を強化するための全共連改革

JAにおける農家・組合員との接点を深めるため、全共連の拠点集約・要員の再配置により、全共連のJA指導・サポート機能を強化する。

# JA共済の目指すもの

## JA共済事業の使命

一、JA共済は、農業協同組合が理念とする「相互扶助」を事業活動の原点とし、常に組合員・利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」を提供します。

一、JA共済は、最良の保障・価格・サービスによる「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、組合員・利用者の豊かな生活づくりに努めます。

一、JA共済は、事業活動の積極的な取り組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献します。

## 次代へつなぐ地域の絆

—もっと安心、もっと信頼されるJA共済を目指して—